

2019 年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業(二次公募)の 実施について

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:村林 聡)は、厚生労働省より 2019 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業(二次公募)の採択を受け、下記の事業を実施することになりましたので、お知らせいたします。

記

《各事業の概要》

【テーマ番号：2】放課後児童クラブにおける育成支援の実態と保護者ニーズに関する調査研究

平成 30 年 9 月 14 日に公表された「新・放課後子ども総合プラン」(厚生労働省・文部科学省共同)においては、放課後児童クラブの待機児童解消を目指した量的整備の目標を示すとともに、子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図る放課後児童クラブの役割を徹底し、子どもの自主性、社会性等のより一層の向上を図ることを目標として掲げられている。放課後児童クラブの役割については、放課後児童クラブの設備及び運営に関する基準及び放課後児童クラブ運営指針に示されているが、全国の放課後児童クラブの運営や活動等の実態は多様な状況にある。他方で、利用する子どもの保護者が放課後児童クラブに期待する役割や内容も多様であると考えられる。

そうした中で、本調査研究では、放課後児童クラブ、及び放課後児童クラブに通う児童の保護者の双方を対象に、放課後児童クラブの育成支援の内容(活動内容、子どもや保護者への援助・支援の内容等)について、その実態と保護者のニーズを把握するための調査を行うことで、放課後児童クラブの役割の徹底を図ることを目的とする。

【テーマ番号：4】ヤングケアラーへの早期対応に関する研究

平成 30 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業において『ヤングケアラーの実態に関する調査研究』を実施したが、この報告書において、要保護児童対策地域協議会でヤングケアラーの概念自体が認知されておらず、今後も啓発や早期発見、早期対応が必要であることが明らかになった。

このような課題を踏まえ、ヤングケアラーという概念の認知を広げるための研修の在り方や、要保護児童対策地域協議会において、現場への過度な負担なく早期に適切に対応していくためのツールやガイドラインについて、本調査研究において研究を行うことを目的とする。

【本件に関するお問い合わせ】

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 竹澤・杉本 TEL:03-6733-1005 E-mail:info@murc.jp